国労ちば

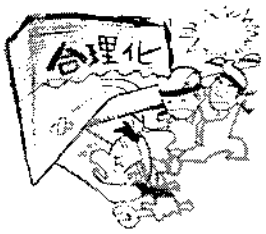
国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 井村 好博
編集 安田 正浩
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)6963
FAX 043(238)6967

職場実態から改善へ

第1回合理化対策委員会

3月28日、国労千葉地本は第1回合理化対策委員会を開催した。

担当執行委員の他、職能別協議会の議長も参加し①この間の合理化施策の検証、②2021ダイヤ改正以降の職場の声、③実態から新たな申し入れへという内容で議論し合った。



役立たずの施策

◆電気協議会…夜間の保守問合いが若干長くなったがほとんど影響なし。電気2023合理化施策で銚子・館山の職場が廃止された。会社はモニタリングなど色々な施策をやるが役に立っていない。職場でコロナが発生し消毒と空間除菌デバイスで除菌、宿直の布団を交換、宿直体制も見直しMCと技セとの往来を止めた。希望者のPCR検査も要求したが叶わなかった。

◆工務協議会…若年者が責任者になると線閉時間ギリギリまで作業し報告書類作成が終わらず超勤に。事務職員は転勤発令が1週間前に出され引き継ぎが出来ない。障がいを持つ人への設備対応がなく配属されてから設備工事に。

◆運輸協議会…「みどりの窓口」が閉鎖され改札での案内が増加。

◆蘇我運輸区…君津～上総湊に着いて5分で折り返し東京まで連続2時間13分連続乗務するのにトイレにも行けない。新習志野終電乗務後は駅のシャッターが閉まっていて指定通路を急きょ変更したが足場が悪く照明もない。

◆木更津運輸区…回送電車のドア締めの指示が乗務カードから省略され取扱いミスの懸念。運転士は11時27分に到着した回送電車を29分発の電車として担当するが行先設定やドア扱いの準備をすると定時発車できない。

◆鴨川運輸区…輸送混乱時に上総一ノ宮や勝浦では接続を取らない事象が多発した。輸送指令は情報を流すだけ、ワンマン運転の運転士は走行中は無線に出ない。車掌が乗務しないワンマン運転の弊害だ。異常時の待機場で自分から情報を集めに行かなければならない。の意見が出された。

魅力のない会社

この他にも、ジェイアール東日本物流ではワンマン運転により荷物運搬電車が廃止され要員も2名減にされた。

みどりの窓口の営業時間短縮での「定期繁忙」対応がどうなるか引き続き調査が必要。

内房線では2両編成のワンマン運転電車では通勤・通学時に乗り切れないため急きょ4両編成に変更された。

木更津駅の中線は上り電車と下り電車で放送案内が大変に。

経費削減で時刻表なども削減された。

職場では「将来が不安」「魅力がない」という若い人の声がある。今年は定期昇給も半分という中、若年退職の増加が懸念される。

「変革2027」では「社員の幸福」が謳われている。

しかし、現場では線閉時間ギリギリ迄作業し超勤で報告書を作る青年がいる。

若い人たちに社会の仕組み、資本主義、労働組合の必要性を訴えていこう。職場実態から、会社に対し新たな申し入れを行い改善につなげていく。行動を起こさなければ何も変わらないことを意思統一した。

働き続ける道しるべ 国労に入って ガンバロウ

ワンマン運転はやめて

4月8日、奥様の通院のためワンマン運転電車を利用した人から地本へ記事が寄せられた。

「妻の通院で東京駅へ行くため、館山駅から7時1分発の上り電車に乗ろうとしたら、上総湊駅で乗換え更に君津駅で快速電車に乗換えが必要と知った。

朝7時過ぎの電車は通勤・通学客で混むだろうし車イスの乗換えは大変と考えた。

安房鴨川駅から東京行きの特急があることを知り、一転、逆方向の館山発7時16分発の電車に乗った。

2両編成の電車は館山駅到着時には学生中心に満員、通学客と共に乗車すると車内はすし詰め状態に。

途中乗り降りが続きながら満員状態は安房鴨川駅まで続き、発車時間までに降りれるか不安がよぎった。

安房鴨川駅では何とか降りれたが、車内は依然として混雑していた。

たまにでも大変なのに、毎日通学する学生はもっと大変だ。

また、混雑している車内で何かトラブルが起きても運転士一人では何も出来ないだろうと思った。通学時間帯だけでも車両を増やし車掌を乗せて欲しい」

合同機

ついに三度目の緊急事態宣言が発令された。何時になったら感染拡大が止まるのか!?不安に駆られる中、感染拡大だけでなく懸念すべきことが増えた。一つは「同調圧力」だ。政府や自治体首長の「不要不急の外出を控えるように」との言葉を借りて「外出するなと言っているのに町に人が溢れている」とバッシング。連日マスコミが一部の不用意な若者だけを取り上げて、全体を押し下げるやり方に違和感を覚える。不要不急は人によって違う、まして要請というお願いにとどまっている中で、国民の側が自ら私権を侵害しようとしている。歴史を振り返って真剣に考える時期に来ている▼懸念のもう一つは、コロナ感染拡大防止という名の下で進められている働き方改革の動きとデジタル改革関連法案。まるでコロナ感染拡大を絶好のチャンスと捉えているように進められている。字数の制限もあり多くは語れない。この機に、労働組合としての任務を考えさせられた。（幸）

2021けんり春闘総行動

4月9日、2021けんり春闘総行動が取り組まれた。

最初は鶯谷にあるホテルシャーウッド前に集結し抗議集会。

この争議は移住労働者40名が「全統一労働組合ピードア分会」を結成し、コロナ休業給付金申請への協力、未払い残業代の支払い、諸保険への加入、労働環境の改善などを求めて団体交渉を行ってきた。しかし、今年1月、全労働者に対して「2月28日付け解雇予告通知」を発令。団体交渉で解雇の撤回を求めたが、会社は「コロナによる売り上げの減少のため」と説明しながらも、解雇を強行し、新しい労働者を雇用し営業を継続している。

次は東京駅近くにある新日本ウェックス株式会社前へ移動。

この会社はクリーニング、リネンを全国で展開する会社で、中南米日系労働者のタカスギさんは2002年8月から17年間、新日本ウェックス野田工場でクリーニングの仕分けや仕上げ作業に従事。2019年12月14日、「会社の仕事が少なくなっている」「仕事のスピードが遅い」「日本語がしゃべれない」と突然解雇通告を受けた。2019年4月22日から2021年4月21日まで有期契約が結ばれている中での解雇通告。また、雇用当初から健康保険・厚生年金に未加入のまま。タカスギさんは神奈川シティユニオンに加入し、団交要求をすると会社は直接本人と交渉を始めて賃金を一方的に振り込み、指定ユニオンとの交渉を拒否し続けている。

その後、経団連前での抗議・要請行動を取り組み、最後に日比谷公園から東京駅までデモ行進を行い、待ちゆく市民へアピールした。

鹿島線視察行動

4月26日、鹿島線のワンマン運転の視察行動を成田分会と佐倉運輸区分会の組合員と共に実施した。

高等学校が多く2両編成で全員乗車出来るのか、安全上問題はないかなどを調査するため、佐原発7時13分の鹿島神宮行電車に乗り一往復した。

佐原発時点では50～60人ほどが乗車し、それほど混雑はなかった。

鹿島神宮駅7時39分発の電車は、発車時点で座席は埋まり40人程の学生が立っていた。さらに潮来駅で50人位の学生が乗車してきて乗車率は100%を超えた。乗車していたのは大半が学生だった。

乗降の際の安全確認については、混雑状況からすれば十分ではなく、特に降車の際は見えないことから「いくらなんでも通勤時間帯はツーマンでないと何かあったら大変だろう」というのが参加者の共通の声だった。

今回は潮来市から委託され潮来駅で働く女性から、様々な苦労話を聞くことが出来た。

見習いは僅か3日間。出たとこ勝負でドキドキしながらの勤務。分からないことばかりで、困ったらお客様を待たせて管理駅に聞くしかない。券売機の紙幣づまりで、紙幣が見つからず大変だったことが一番困ったこと。

委託の賃金では割に合わず生活にも困るので今日で退職するとのこと。「行政の責任です」と一言。

現場を無視し、いい加減な対応で市に委託させたJRの責任こそ重いと感じた。

汚染水を海に捨てるな

4月13日、「さようなら原発1000万人アクション実行委員会」は、東京電力福島第一原発で生じている放射能汚染水を海洋放出する閣議決定に対し、首相官邸前で抗議集会を開いた。

300人をはるかに超える人たちが結集し、「昨年の有識者による政府の小委員会の報告では現地や関係者と丁寧に議論するとあったが議論も合意もないまま再び福島に放射能の被害を押し付ける断じて許せないものだ。『海洋放出ありき』で進められてきた放射能汚染水問題。海外の国や市民からも多くの批判の声にも、まともに回答していない。世論に挑戦する『海洋放出』を閣議決定したことは許されない。保管するタンクの新たな敷地の確保や他の代替案の再検討を強く求める。」と抗議した。

習志野運輸区分会 第75回定期大会大会

3月27日、地本会議室にて第75回定期大会を開催した。

体調を崩し乗務を降りている車掌に対し、会社が病休で休むように圧力をかけてくるなどの問題が議論された。

新役員体制

委員長　名雪勝男
副委員長　佐藤勝衛
書記長　小澤康雄

闘うネコ伝説　～序章～

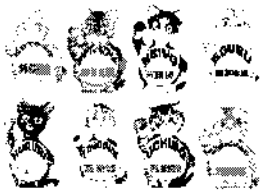
人々は本当に困っていた。
毎日使っていたＪＲが八犬士たちに支配され、列車の本数は減るし、行き方を訊こうとしても駅員がいない…。
とても不便になってしまったのだ。

人々は元の便利で使いやすいＪＲを取り戻すため、試行錯誤を繰り返したが「特効薬」は見つからない。

そうこうしているうちに、通勤・通学・通院・買い物するのも大変になって、日常生活は破たんしてしまった。

この非常事態に怒りの声をあげたのは、久留里線・内房線・外房線・総武線・京葉線・成田線・武蔵野線・東金線から集まった８匹のネコだった。

人々の生活を守るため、
ネコたちが立ち上がったのだ。



次章へつづく…